エコアクション 21 環境活動レポート

（令和２年度 運用期間版）

運用期間: 令和２年５月～令和２年７月

株式会社麻生マイニング

令和２年８月 27 日発行

目　　次

1. 組織の概要　P.3-5

2. 組織図及び認証・登録範囲　P.5

3. 環境経営方針　P.6

4. 当年度及び中期環境経営目標　P.7

5. 当年度の主要な環境経営目標　P.7-8

6. 環境経営計画の実施体制　P.8

7. 運用期間の環境経営目標の実績　P.9

8. 環境経営計画の取組結果とその評価　P.10

9. 今年度（8 月～令和 3 年 3 月）の環境経営目標及び環境経営計画　P.10-11

10.環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟などの有無　P.11

11.代表者による全体評価と見直しの結果　P.11

1. 組織の概要

事業者名　株式会社麻生マイニング

代表者名　代表取締役　田上　智徳　（令和２年６月22日就任）

所在地　　本　　社　福岡県飯塚市芳雄町７番18号
　　田川事業所　福岡県田川市弓削田2800番地（対象外：令和４年拡大予定）

資本金　　4000万円

設立年月日　　平成30年12月４日

環境管理責任者　　橋本　健一

連絡先　　TEL　0948-23-5837
　　FAX　0948-23-1046

E-mail　　mining-p01@aso-group.co.jp

事業の概要　　産業廃棄物及び特別産業廃棄物収集運搬業（医療系）
　　石灰石販売業、セメント生産関連請負業

事業の規模

	単位	平成30年度	平成31年度
売上高	百万円	0	554
従業員数	人	0	12
事務所面積	㎡	52	52
駐車場面積	㎡	0	700

当社の事業年度　　４月１日～翌年３月31日
（今回の経営レポートの対象期間は、令和２年５月～令和２年７月）

認証・登録範囲　　本社の全組織、全活動
（田川事業所は、認証・登録を令和４年の更新審査に計画しています）

産業廃棄物収集運搬業の許可状況

産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）																			その他
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ダスト類（ばいじん）	紙くず	木くず	13号廃棄物	動物残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の所在地及び面積許可の条件
	有	無																					
福岡県		●	H31. 3. 5 H36. 3. 4	04000205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						積替保管なし 許可の条件なし
山口県		●	H31.2.25 H36.2.24	03500205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						積替保管なし 許可の条件なし
佐賀県		●	H31.2.18 R 6.2.17	04101205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						積替保管なし 許可の条件なし

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）																			その他
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB	廃石綿												積替保管施設の所在地及び面積許可の条件
	有	無																					
福岡県		●	H31. 3. 5 H36. 3. 4	04050205679	●	●	●	●	●														積替保管なし 許可の条件なし
山口県		●	H31.2.25 H36.2.24	03550205679	●	●	●	●	●														積替保管なし 許可の条件なし
佐賀県		●	H31.2.18 R 6.2.17	04151205679	●	●	●	●	●														積替保管なし 許可の条件なし

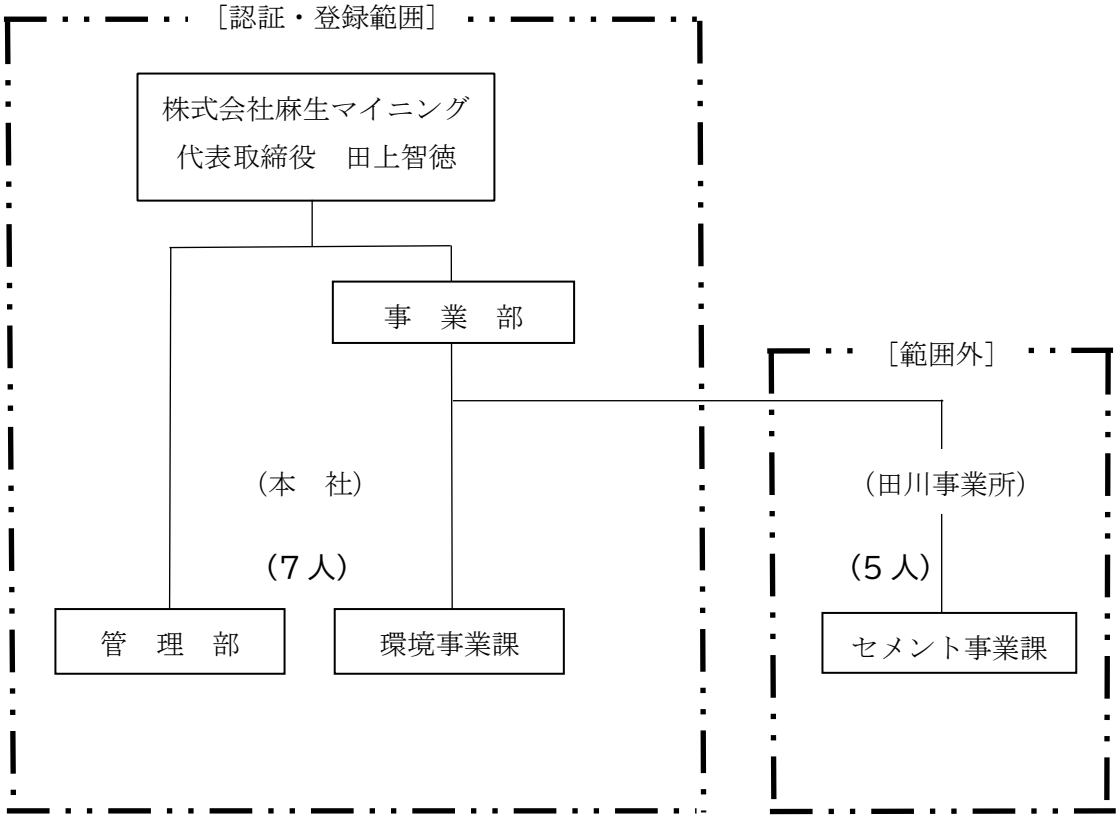
産業廃棄物収集運搬車両の種類と台数

車両番号	車両形式	積載量	保有台数
筑豊 100 さ 46-04	保冷車	2,000kg	1 台
筑豊 100 さ 65-50	保冷車	3,000kg	1 台
筑豊 100 さ 77-59	保冷車	2,000kg	1 台
筑豊 880 あ 5-53	冷蔵冷凍車	350kg	1 台

廃棄物収集運搬実績

	単位	種類	平成31年度	令和2年5月～7月
収集運搬量	t	感染性産業廃棄物	561.134	130.137
		廃プラスチック類	57.049	13.149
		ガラスくず及び陶磁器くず	5.891	0.781
		廃酸	0.238	0.020
		廃アルカリ	0.191	0.020
合計			624.503	144.107

2. 組織図及び認証・登録範囲



［田川事業所は、認証・登録を令和 4 年の更新審査に計画しています］

3. 環境経営方針

【基本理念】
株式会社麻生マイニングは、地域環境の改善を重要な課題と位置づけ、産業廃棄物及び特別産業廃棄物収集運搬事業の活動を通じて環境への負荷低減に積極的に取り組みます。 そのためエコアクション21に基づく環境経営システムを構築・運用することにより継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

【行動指針】
環境経営システムを構築・運用し継続的な取組を進めるため、この行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営活動計画等を定め、実効性のある活動を展開します。

1.二酸化炭素の排出削減
　節電を励行するとともに、エコドライブを実施して収集運搬車のガソリン、軽油の使用量を削減します。
2.水使用量の削減
　節水に努め、水使用量を削減します。
3.環境にやさしい製品・サービスの採用を進めます。
4.環境活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
5.環境経営の継続的改善に取り組むことを誓約します。
6.地域社会と良好なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。
7.この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。
8.この環境方針は広く一般に公表します。

令和 2 年 6 月 22 日制定
株式会社麻生マイニング
代表取締役　田上　智徳

4. 当年度及び中期環境経営目標

項　　目	単位	（基準）	目　標		
		平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-Co2	57,278.56	（1.0%削減） 56,705.77	（1.5%削減） 56,419.38	（2.0%削減） 56,132.99
軽油使用量の削減	ℓ	21,872.00	（1.0%削減） 21,653.28	（1.5%削減） 21,543.92	（2.0%削減） 21,434.56
ガソリン使用量の削減	ℓ	365.86	（1.0%削減） 362.20	（1.5%削減） 360.37	（2.0%削減） 358.54
廃棄物排出量の削減	m3	2.16	（5.0%削減） 2.05	（7.5%削減） 2.00	（10.0%削減） 1.94
水使用量の削減	m3	21.00	（5.0%削減） 19.95	（7.5%削減） 19.43	（10.0%削減） 18.90
燃費の向上 （軽油使用車両）	km/ℓ	7.23	（0.5%向上） 7.27	（0.8%向上） 7.29	（0.9%向上） 7.30

1. 電気使用量は、事務所賃借料に含まれているため、取り上げていません。
2. 水使用量は、駐車場の水使用量のみとする。
   （事務所水使用量は、賃借料に含まれているため、取り上げていません。）
3. 化学物質は使用していませんので、目標に取り上げていません。

5. 当年度の主要な環境経営計画

5-1 二酸化炭素排出量の削減

（1）電気使用量の削減

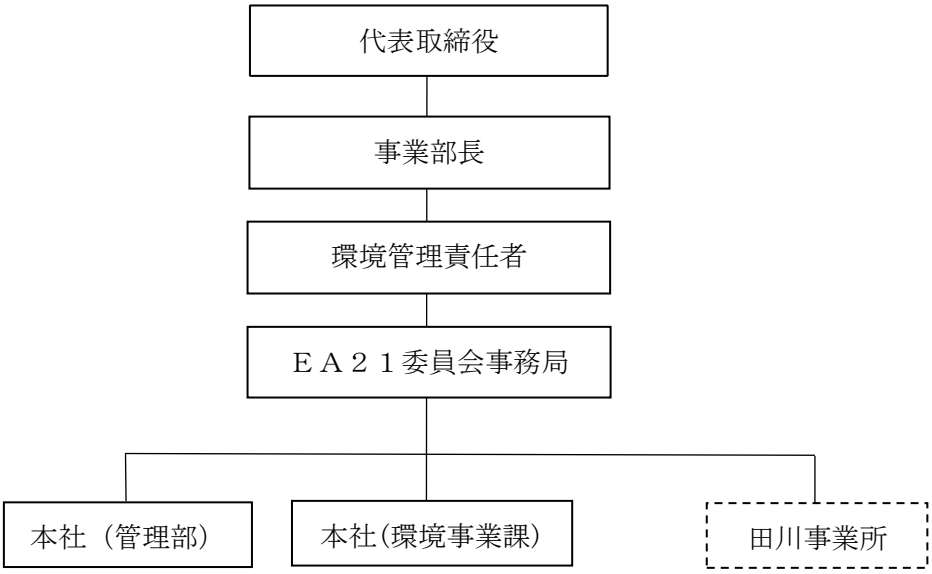
・エアコン設定温度を 27℃/20℃(夏期/冬期)とする。
・パソコンをエコモードに設定。
・夏期は、ブラインド等で熱の遮断。
・昼休みの消灯

(2)燃料使用量の削減
・車のアイドリングストップの実施。
・回収ルートの検討・見直しの実施。
・車のエコドライブの実施。
・積載オーバーをしない

5-2 廃棄物排出量の削減
・事務所で使用した不要用紙は、裏紙をメモ紙等に再利用、控え資料のコピー用に利用、シュレッターにかけて再資源化を実施。

5-3 水使用量の削減
・手洗い、うがい時の節水励行。
・蛇口締め忘れ再確認励行。
・洗車時の節水

6. 環境経営計画の実施体制



7. 運用期間の環境経営目標の実績

・令和２年５月～７月の運用期間の目標に於ける実績は、下記の通りでした。

項　　目	単位	令和１年度 （基準） ５月～７月 ３ヶ月の実績	令和２年度 ５月～７月 ３ヶ月の目標	令和２年度 ５月～７月 ３ヶ月の実績	目標の達成率 （目標/実績）
二酸化炭素排出量の削減	kg-Co2	15,114.90	（1.0%削減） 14,963.75	13,338.00	112.20%
軽油使用量の削減	ℓ	5,641.00	（1.0%削減） 5,584.60	5085.00	109.80%
ガソリン使用量の削減	ℓ	241.86	（1.0%削減） 239.00	69.00	346.40%
廃棄物排出量の削減	m3	0.54	（5.0%削減） 0.51	0.36	142.50%
水使用量の削減	m3	5.50	（5.0%削減） 5.23	2.00	261.50%
燃費の向上（軽油使用車両）	km/ℓ	7.23	（0.5%向上） 7.27	7.43	97.80%

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

(1)電気使用量の削減。： 結果 達成(数値評価なし)

本社事務所は、建物の一部を間借りしており、電気料(及び水道代)が賃料に含まれているため、当事務所の電気使用量は数値化されていません。
よって、電気使用量削減の数値目標はありませんが、事務所内のスタッフは、電気使用量を削減すべき行動を実践しています。

(2)燃料の使用量削減 ： 結果 達成

軽油使用量の目標を5, 583Lとしていましたが、5, 085Lの実績となり、目標達成率が 110%でした。 達成要因は、効率的な運搬コースに改善したことと、運転手によるエコドライブが習慣化したことです。 ガソリン使用量は、目標を 239Lとしていましたが、69Lの実績となり、目標達成率が 346%でした。達成要因は、運搬コース改善に伴い、ガソリン使用車両の走行頻度を減少したことです。

(3) 廃棄物排出量の削減 ： 結果 達成

事務所で排出されるごみの削減計画目標を 0.51L としていましたが、0.36Lの実績となり、目標達成率が 142%でした。 達成要因は、不要用紙の裏紙を利用したことと、不要用紙をシュレッターにかけて再資源化に努めたことです。

(4)水使用量の削減 ： 結果 達成

駐車場の水使用量は、目標を 5.23KLとしていましたが、2.0KLの実績となり、目標率が 261.5%でした。 達成要因は、水の出しっぱなしが減るなど、節水意識を持って洗車をするようになったことです。 本社事務所は、水使用量が数値化さけていませんが、事務所のスタッフ全員が、節水及び蛇口締め忘れの再確認を実践しています。

9. 今年度(令和２年８月～令和３年３月)の環境経営目標及び環境経営計画

下記の通り、今年度運用期間(5-7 月)の目標を継続します。

9-1 二酸化炭素排出量の削減

(1)電気使用量の削減

・エアコン設定温度を 27℃/20℃(夏期/冬期)とする。
・パソコンをエコモードに設定。
・夏期は、ブラインド等で熱の遮断。
・昼休みの消灯。

（2）燃料使用量の削減

・車のアイドリングストップの実施。

・配達ルートの検討・見直し。

・車のエコドライブの実施。

・積載オーバーをしない。

9-2 廃棄物排出量の削減

・事務所で使用した不要用紙は、裏紙をメモ紙等に再利用、控え資料のコピー用に利用、シュレッターにかけて再資源化を実施。

9-3 水使用量の削減

・手洗い、うがい時の節水励行。

・蛇口締め忘れ再確認励行。

・洗車時の節水

10. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟などの有無

環境関連法規などの一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。 尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありません。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社は、産業廃棄物及び特別産業廃棄物の収集運搬事業の活動を通じて、環境への負荷低減に積極的に取り組むため、この度、エコアクション21に取り組むことに致しました。行動指針としての、環境経営システムを構築・運用し、継続的な取り組みを進めるため、環境経営目標及び、環境経営活動計画を定め、活動をスタートさせました。

令和 2 年 5 月 1 日のキックオフより、環境管理責任者が中心となりスタッフをまとめ、本社スタッフ全員参加で、目標を達成するための行動が実践されました。 キックオフから 3 ヶ月の運用期間中については、すべて目標を達成しております。 達成の要因としましては、環境管理責任者を中心としたスタッフ全員が、数値目標の達成のため、取り組んだ行動の成果だと思われます。 中でも、トラックドライバーがエコドライブを実践するようになったことが、達成に大きく寄与してものと思われます。

まだまだ、活動をスタートしたばかりです。 今後も気を緩めることなく、まずは、当年度の目標を達成することで、スタッフ全員の意識を高め、継続性のある円滑な環境経営につながるものと期待しております。